

2021年3月4日

報道関係各位

株式会社OKB総研

## 「OKB景況指数」2021年3月期調査報告

OKBグループのシンクタンク(株)OKB総研(大垣市郭町2-25 社長 五藤 義徳)は、3ヵ月ごとに景況調査を行い「OKB景況指数」を公表しております。このたび、2021年3月期調査報告を取りまとめいたしましたのでご案内します。

### 調査結果要旨

<b>景気の水準</b>	水準は3期連続で上昇。厳しい状況にある中、ペースは鈍化するも回復基調を維持。緊急事態宣言の再発出を受け個人消費が落ち込んだ一方、生産活動は回復基調を維持、昨春の緊急事態宣言時のような大きな落ち込みとはならなかった。
<b>景気の方角</b>	緊急事態宣言解除による個人消費の持ち直しや新型コロナワクチンへの期待感もあり、緩やかながらも、持ち直しの動きが続くと見込まれる。
<b>新型コロナの影響</b>	新型コロナウイルスによる地域経済への影響は、「かなりある」との回答が最も多い。感染第3波や緊急事態宣言再発出などを受け、影響の低下傾向に歯止めがかかった。また、多くの支店長は、第3波感染拡大を受け、新型コロナによる地域の経済問題は年末まで引きずる展開になると想定している。

### OKB景況指数とは・・・

#### OKB大垣共立銀行の支店長を対象に3ヵ月ごとに調査を実施

東海3県にある**OKB大垣共立銀行の支店長を調査対象**としている点が大きな特徴。銀行の支店長は、地域の企業活動や個人の景況感を総合的に捉えている。幅広い視点から地域の景況感を把握するには、銀行支店長への調査は有効な方法となる。

#### 県域より狭い地域の景気の水準と方向を集計

「名古屋」、「西三河」、「西濃」など、**県域より狭い地域の景気水準を表す指標**を公表している。

(注) 東海3県の当該県域全体を対象としていない(OKB大垣共立銀行の支店所在地エリアが対象)。

資料配布場所：名古屋金融記者クラブ、大垣市政経済記者クラブ

【本件に関する問合せ先：OKB総研 調査部 中澤・後藤 TEL: 052-564-1520 FAX:052-564-1528】

# OKB景況指数（2021年3月期調査報告）

## 調査概要

- (1) 調査対象 東海3県にあるOKB大垣共立銀行の法人取引のある111支店の支店長
- (2) 調査内容 調査時点の景気水準および3ヵ月後の景気方向
- (3) 調査方法 2021年2月中旬に調査票を配付・回収

## 調査結果

**景気的水準：** 水準は3期連続で上昇。厳しい状況にはある中、ペースは鈍化するも回復基調を維持。緊急事態宣言再発出を受け個人消費が落ち込んだ一方、生産活動は回復基調を維持。

**景気方向：** 緊急事態宣言の解除による個人消費の持ち直しや新型コロナワクチンへの期待感もあり、緩やかながらも、持ち直しの動きが続くと見込まれる。

	景気的水準(2021年3月期)	景気方向(3ヵ月後見通し)
全地域	<ul style="list-style-type: none"> <li>・景気全般は▲38.4（前环比+8.5）と、回復ペースは鈍化するも3期連続で上昇し、回復基調を維持した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・+11.9と「良化」超</li> </ul>
	<p>(支店長コメント)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車産業を中心とした製造業では回復が続く一方、緊急事態宣言下で個人消費は低迷。飲食・サービス業は非常に厳しい状況が続いている。</li> </ul>	
県別	<ul style="list-style-type: none"> <li>・愛知県▲43.2（前环比+2.1）、岐阜県▲34.9（前环比+13.1）と緩やかに回復した。上昇は3期連続で、厳しい状況ながらも持ち直しの動きが続いている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・愛知県は+16.4と「良化」超</li> <li>・岐阜県は+7.3と「良化」超</li> </ul>
	<p>(支店長コメント)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・愛知県では、自動車関連製造業は好調に推移。他方、飲食関係は緊急事態宣言による時短・休業などの影響から低調。</li> <li>・岐阜県では、自動車関連の受注回復が顕著、今後も好調な見込。工作機械関連はやや回復の兆しが見えるも限定的。一方で、航空機関連は足元・先行きとも厳しい状況。</li> </ul>	
地域別	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回調査で上昇幅が大きかった西三河、東三河地域が低下。その他の8地域では、昨春の緊急宣言時の落ち込みを底に、3期連続で上昇している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「良化」超 名古屋、東尾張、西三河、岐阜、西濃、桑名・四日市</li> <li>・「悪化」超 東濃・可茂</li> </ul>
	<p>(支店長コメント)</p> <p><b>【名古屋地域】</b> 業種によって、好調・不調の差が鮮明。GoToキャンペーンにより一時回復した個人消費が、緊急事態宣言により再度冷え込み。イベント関連、観光、航空機産業は特に深刻な状況。飲食店や居酒屋チェーン店は例年の3割程度の売り上げ推移。</p> <p><b>【西濃地域】</b> 感染第1波で製造業はほぼ減収となったものの、10月以降、自動車関連企業を中心に売上回復が顕著、収益は改善傾向。しかし、小売、飲食業は、第3波による緊急事態宣言の影響で、時短及び休業を余儀なくされ苦戦が続く。</p>	
項目別	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「全地域」を項目別に見ると、「個人消費」は▲35.0（前环比▲5.9）と、緊急事態宣言の再発出を受け3期ぶりに低下。ただし、昨春の緊急事態宣言時のような深刻な落ち込みは見られなかった。「生産活動」「企業収益」は3期連続、「設備投資」は2期連続上昇し、回復基調を維持。</li> <li>・「資金需要」の高まりや「雇用」の過剰感は一服した様子。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「増加」超 「個人消費」、「生産活動」、「設備投資」、「企業収益」</li> <li>・「減少」超 「資金需要」</li> <li>・「不足」超 「雇用」</li> </ul>
	<p>(支店長コメント)</p> <p><b>「個人消費」：</b> 緊急事態宣言により、GoToキャンペーンなどで回復傾向にあった飲食店なども再度客足が鈍化。特に従業員を抱える事業者は厳しい。今後は、緊急事態宣言解除やGoToキャンペーン再開などにより、一定の消費回復を見込む。</p> <p><b>「生産活動」：</b> 自動車関連製造業の復調は顕著。半導体の供給遅滞や東北地震の影響で、数日間の生産停止に見舞われるも、影響は限定的と考えられる。</p> <p><b>「設備投資」：</b> コロナの影響もあり、設備投資意欲は鈍い。一方で補助金を活用して新たな分野に投資するなど、業績堅調な企業を中心に少しずつ回復基調にある。</p> <p><b>「企業収益」：</b> 自動車関連を中心とした製造業では堅調な先が多いが、飲食、ホテル、印刷、サービス業などは自粛要請による個人消費の低迷を受け、収益の落ち込みが大きい。</p> <p><b>「雇用」：</b> 雇用調整助成金により雇用は維持されているが、助成金終了後に業況の厳しい先で人員整理が行われる可能性がある。</p>	

\*（支店長コメント）は、該当エリア・項目の調査結果（水準・方向）と関連したコメントを掲載しています。

## ■指数および算出方法について

①「景気の水準」・・・調査時点における地域の景気の「水準」を示す指数。

②「景気の方角」・・・景気の「水準」に対して、景気の「方向」を示す指数。

各指数は、最高点が100、最低点が▲100となる。①「景気の水準」を表す「景気全般」の場合、右記の表の通り、各項目の回答にポイント进行付与。支店の規模によるウェイト調整を行った上で、地域毎のポイント合計を当該地域の全支店長が「良い」と回答した場合のポイント合計で割り、100を乗じて算出する。

地域の景気水準を表す「景気全般」の場合

現在の景気に対して	付与ポイント
良い	2ポイント
どちらかといえば良い	1ポイント
良くも悪くもない	0ポイント
どちらかといえば悪い	▲1ポイント
悪い	▲2ポイント

図表1 OKB景況指数「景気の水準」(2021年3月期)

地域名	景気全般	個人消費	生産活動	設備投資	企業収益	資金需要	雇用
	今期水準(前回比)	今期水準(前回比)	今期水準(前回比)	今期水準(前回比)	今期水準(前回比)	今期水準(前回比)	今期水準(前回比)
名古屋	▲37.5 (+10.0) ↑	▲32.5 (▲7.5) ↓	▲5.0 (▲2.5) ↓	▲37.5 (+20.0) ↑	▲32.5 (+22.5) ↑	▲7.5 (▲17.5) ↓	▲7.5 (+17.5) ↑
東尾張	▲50.0 (+6.0) ↑	▲50.0 (▲12.0) ↓	▲27.1 (+12.9) ↑	▲22.9 (+35.1) ↑	▲45.8 (+20.2) ↑	▲18.8 (▲12.8) ↓	6.3 (+18.3) ↑
西尾張	▲43.8 (+6.3) ↑	▲31.3 (▲6.3) ↓	▲12.5 (+18.8) ↑	▲50.0 (+9.4) ↑	▲43.8 (+15.6) ↑	▲6.3 (+28.1) ↑	▲18.8 (+9.4) ↑
西三河	▲37.5 (▲12.5) ↓	▲37.5 (▲12.5) ↓	12.5 (+12.5) ↑	▲37.5 (0.0) ⇐	▲12.5 (+62.5) ↑	0.0 (+12.5) ↑	▲12.5 (+12.5) ↑
東三河	▲40.0 (▲40.0) ↓	20.0 (+20.0) ↑	20.0 (0.0) ⇐	10.0 (0.0) ⇐	▲20.0 (0.0) ⇐	20.0 (+10.0) ↑	0.0 (▲20.0) ↓
岐阜	▲36.0 (+11.7) ↑	▲34.9 (+0.7) ↑	▲16.3 (+10.4) ↑	▲41.9 (+3.7) ↑	▲45.3 (+9.1) ↑	▲19.8 (▲3.1) ↓	▲3.5 (+5.4) ↑
西濃	▲34.5 (+12.1) ↑	▲43.1 (▲15.5) ↓	▲15.5 (+22.4) ↑	▲31.0 (+25.9) ↑	▲39.7 (+19.0) ↑	▲3.4 (0.0) ⇐	5.2 (+5.2) ↑
東濃・可茂	▲33.3 (+16.7) ↑	▲16.7 (+11.1) ↑	▲11.1 (+22.2) ↑	▲33.3 (+16.7) ↑	▲50.0 (▲33.3) ↓	▲16.7 (0.0) ⇐	▲5.6 (+22.2) ↑
飛騨・郡上	▲33.3 (+16.7) ↑	▲33.3 (0.0) ⇐	0.0 (+16.7) ↑	▲16.7 (+50.0) ↑	▲33.3 (0.0) ⇐	0.0 (▲50.0) ↓	▲50.0 (▲50.0) ↓
桑名・四日市	▲37.5 (+12.5) ↑	▲50.0 (▲37.5) ↓	▲12.5 (+37.5) ↑	▲62.5 (▲12.5) ↓	▲37.5 (+37.5) ↑	▲12.5 (0.0) ⇐	▲12.5 (+25.0) ↑
愛知県(5地域)	▲43.2 (+2.1) ↑	▲34.9 (▲7.2) ↓	▲10.3 (+9.3) ↑	▲32.2 (+19.2) ↑	▲36.3 (+23.2) ↑	▲8.2 (▲0.8) ↓	▲5.5 (+12.8) ↑
岐阜県(4地域)	▲34.9 (+13.1) ↑	▲33.9 (▲2.2) ↓	▲14.1 (+16.5) ↑	▲35.4 (+15.6) ↑	▲43.8 (+3.7) ↑	▲13.0 (▲4.3) ↓	▲4.2 (+5.0) ↑
三重(1地域)	▲37.5 (+12.5) ↑	▲50.0 (▲37.5) ↓	▲12.5 (+37.5) ↑	▲62.5 (▲12.5) ↓	▲37.5 (+37.5) ↑	▲12.5 (0.0) ⇐	▲12.5 (+25.0) ↑
全地域	▲38.4 (+8.5) ↑	▲35.0 (▲5.9) ↓	▲12.4 (+14.5) ↑	▲35.3 (+15.8) ↑	▲40.4 (+13.2) ↑	▲11.0 (▲2.7) ↓	▲5.1 (+9.1) ↑

(\*1) 各項目の「今期水準」は5つの選択肢にそれぞれポイント进行付与したうえで算出。

例えば「景気全般」は、「良い」に2ポイント、「どちらかといえば良い」に1ポイント、「良くも悪くもない」に0ポイント、「どちらかといえば悪い」に▲1ポイント、「悪い」に▲2ポイント付与。

各回答に付与したポイント合計を、全回答が「良い」とした場合のポイント合計で除して算出。同じ市町に複数の店舗がある場合には、当該市町の中心的な店舗以外の店舗について、ポイントを通常の2分の1として算出。

(\*2) ()内の前回は、前回調査時の各指数からの変化幅を表記。

(\*3) 雇用は「不足-過剰」で算出。プラスは「不足超」、マイナスは「過剰超」を示す。

図表2 OKB景況指数「景気の方角(3ヵ月後見通し)」(2021年6月期見通し)

(単位: %ポイント)

地域名	景気全般	個人消費	生産活動	設備投資	企業収益	資金需要	雇用
	「良化」-「悪化」	「増加」-「減少」	「増加」-「減少」	「増加」-「減少」	「増加」-「減少」	「増加」-「減少」	「不足」-「過剰」
名古屋	35.0 ↑	35.0 ↑	40.0 ↑	10.0 ↑	40.0 ↑	▲15.0 ↓	0.0 ⇐
東尾張	12.5 ↑	12.5 ↑	20.8 ↑	37.5 ↑	4.2 ↑	0.0 ⇐	8.3 ↑
西尾張	0.0 ⇐	6.3 ↑	6.3 ↑	0.0 ⇐	12.5 ↑	▲37.5 ↓	▲12.5 ↓
西三河	25.0 ↑	0.0 ⇐	▲25.0 ↓	0.0 ⇐	▲25.0 ↓	0.0 ⇐	0.0 ⇐
東三河	0.0 ⇐	0.0 ⇐	0.0 ⇐	40.0 ↑	0.0 ⇐	0.0 ⇐	0.0 ⇐
岐阜	23.3 ↑	20.9 ↑	25.6 ↑	20.9 ↑	20.9 ↑	2.3 ↑	2.3 ↑
西濃	3.4 ↑	37.9 ↑	6.9 ↑	▲3.4 ↓	3.4 ↑	▲3.4 ↓	▲6.9 ↓
東濃・可茂	▲22.2 ↓	11.1 ↑	11.1 ↑	11.1 ↑	▲22.2 ↓	0.0 ⇐	11.1 ↑
飛騨・郡上	0.0 ⇐	0.0 ⇐	0.0 ⇐	0.0 ⇐	0.0 ⇐	▲33.3 ↓	0.0 ⇐
桑名・四日市	25.0 ↑	25.0 ↑	25.0 ↑	25.0 ↑	25.0 ↑	25.0 ↑	0.0 ⇐
愛知県(5地域)	16.4 ↑	15.1 ↑	16.4 ↑	17.8 ↑	12.3 ↑	▲12.3 ↓	0.0 ⇐
岐阜県(4地域)	7.3 ↑	22.9 ↑	15.6 ↑	10.4 ↑	6.3 ↑	▲2.1 ↓	1.0 ↑
三重(1地域)	25.0 ↑	25.0 ↑	25.0 ↑	25.0 ↑	25.0 ↑	25.0 ↑	0.0 ⇐
全地域	11.9 ↑	19.8 ↑	16.4 ↑	14.1 ↑	9.6 ↑	▲5.1 ↓	0.6 ↑

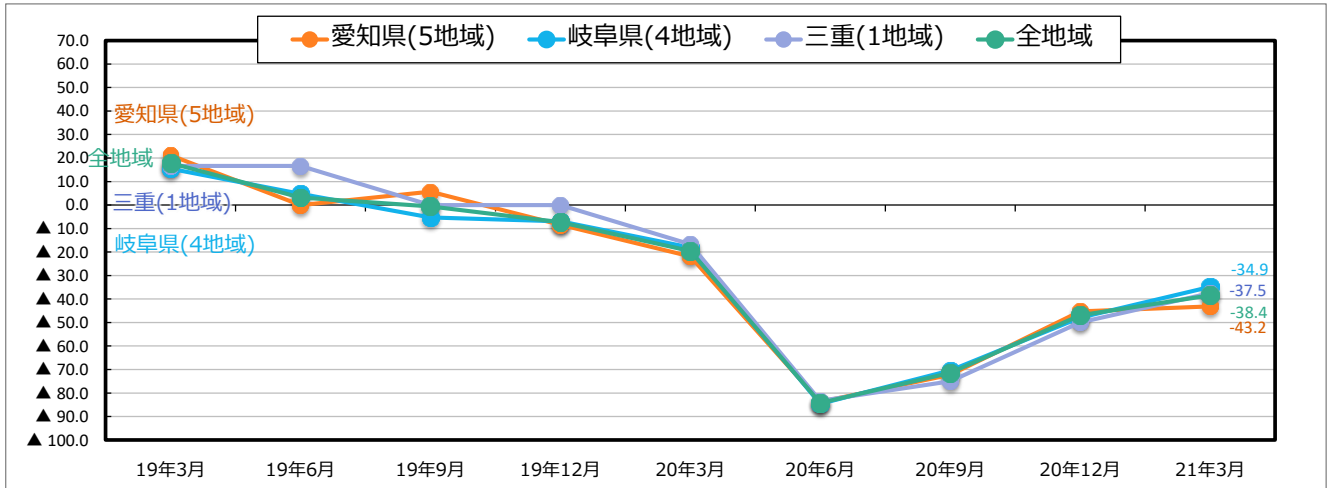
(\*1) 景気全般は、3ヵ月後には景気が今より「良くなりそう」と回答した割合(%) - 「悪くなりそう」と回答した割合(%)

他の6項目は、3ヵ月後には今より「増えそう(不足しそう)」と回答した割合(%) - 「減りそう(過剰となりそう)」と回答した割合(%)

「景気の水準」同様、同じ市町に複数の店舗がある場合には、当該市町の中心的な店舗以外の店舗について、ポイントを通常の2分の1として算出。

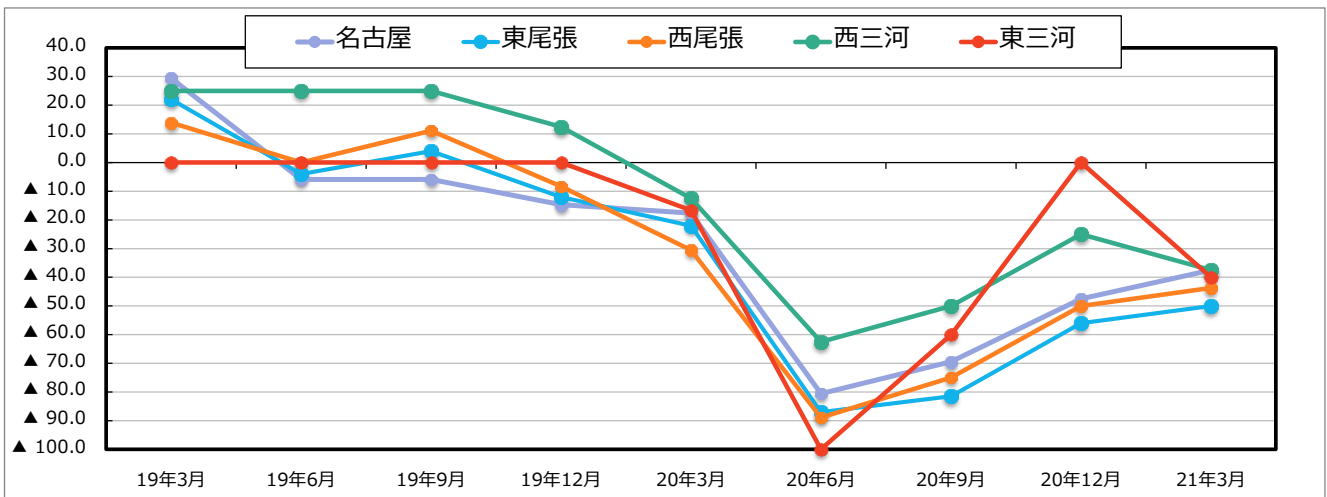
# 「景気の水準」の推移

## ■ 県別

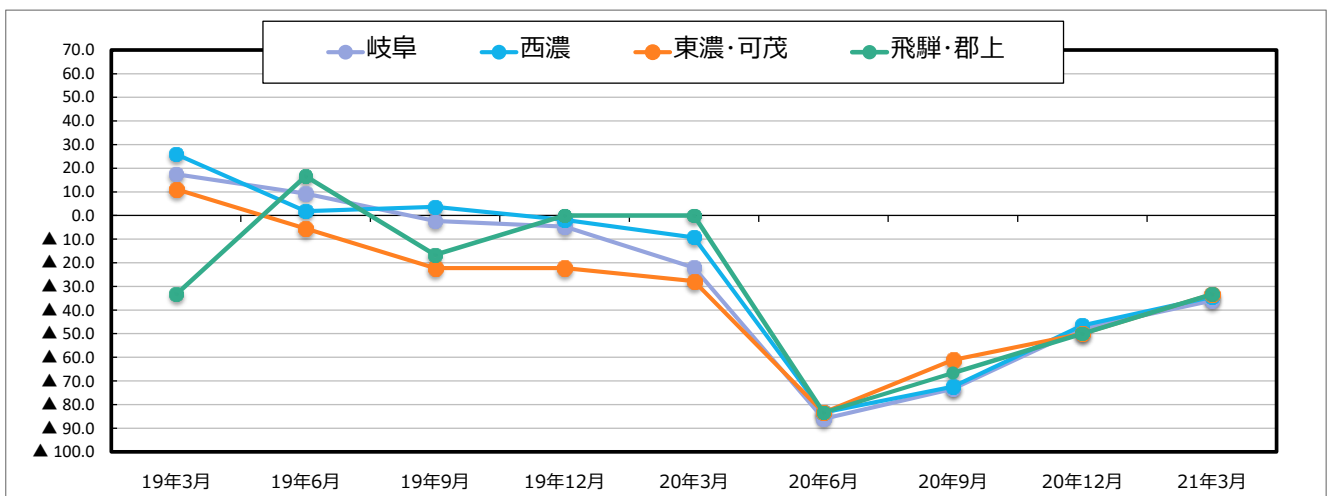


## ■ 地域別

### ① 愛知県内



### ② 岐阜県内



## 追加調査

# 「新型コロナウイルスによる地域経済への影響」

地域経済への新型コロナウイルスによる影響を観測するため、2020年6月期調査より、景況調査の各項目への「新型コロナウイルス感染症による影響」について尋ねている。地域の景況感に対する新型コロナウイルスの影響について、県別・項目別に見ていきたい。

### 影響度の指数化について

※指数はOKB景況指数の算出同様、各項目の回答に表のポイントを付与、支店の規模によるウェイト調整を行ったうえで算出している。全支店長が「極めて大きい」と回答した場合は最高点の4、全支店長が「影響はない」と回答した場合は最低点の0となる。

調査項目への新型コロナの影響の大きさ	付与ポイント
影響はない	0ポイント
ややある	1ポイント
かなりある	2ポイント
非常に大きい	3ポイント
極めて大きい	4ポイント

**(1) 新型コロナによる地域経済への影響は、「かなりある」が44.3%と最も多かった。「極めて大きい」、「非常に大きい」が合わせて前回比▲1.3ポイントとなるなど、感染第3波や緊急事態宣言再発出などを受け、これまでの低下傾向がやや鈍化した。**

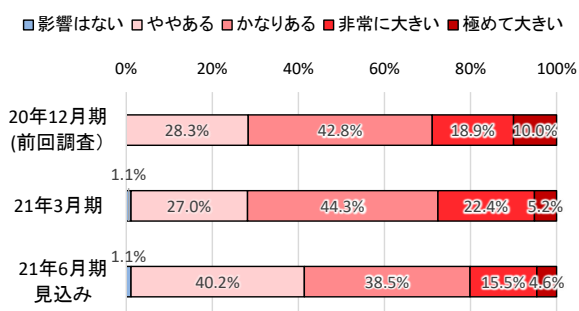
景況調査の各項目への「新型コロナによる影響」について尋ねたところ、景気全般では「極めて大きい」が5.2%、「非常に大きい」が22.4%、「かなりある」が44.3%、「ややある」が27.0%、「影響はない」が1.1%だった。前回（12月期）調査から、「極めて大きい」の割合が減少した一方で、「非常に大きい」、「かなりある」が上昇した。

景気全般の影響度は2.0、前回比▲0.1とやや低下。項目別では、「個人消費」は前回比+0.1と影響度が上昇したものの、その他の項目では12月期調査から0.2ポイント低下。新型コロナ第3波を受けた愛知県・岐阜県での緊急事態宣言再発出が個人消費へ与えた影響により、これまでの低下傾向がやや鈍化した。

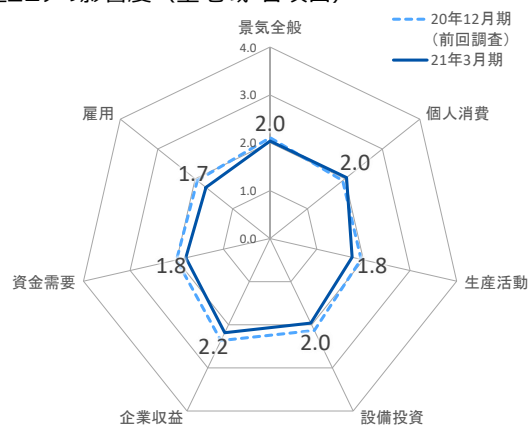
「生産活動」は指数の低下傾向が続いており、新型コロナの影響が軽減していっていることがうかがえる。

3ヵ月後の見通しについて、宣言解除による経済活動の回復やワクチン普及への期待などを受け、各調査項目への「新型コロナによる影響」は、軽減する見込み。

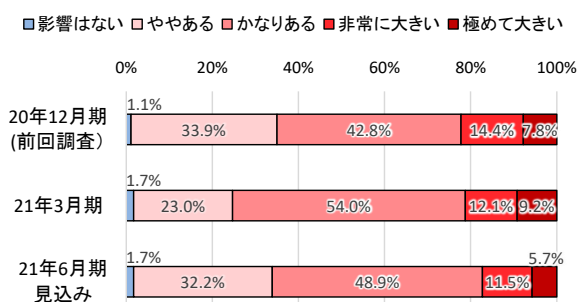
#### ・新型コロナの影響について（全地域・景気全般）



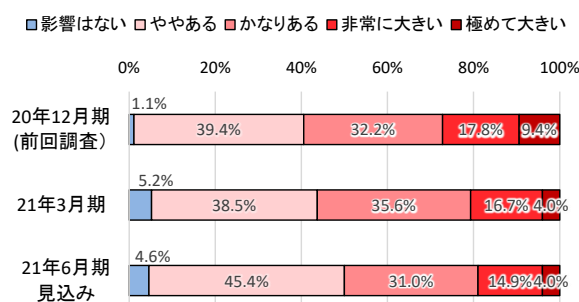
#### ・新型コロナの影響度（全地域・各項目）



#### ・新型コロナの影響について（全地域・個人消費）



#### ・新型コロナの影響について（全地域・生産活動）





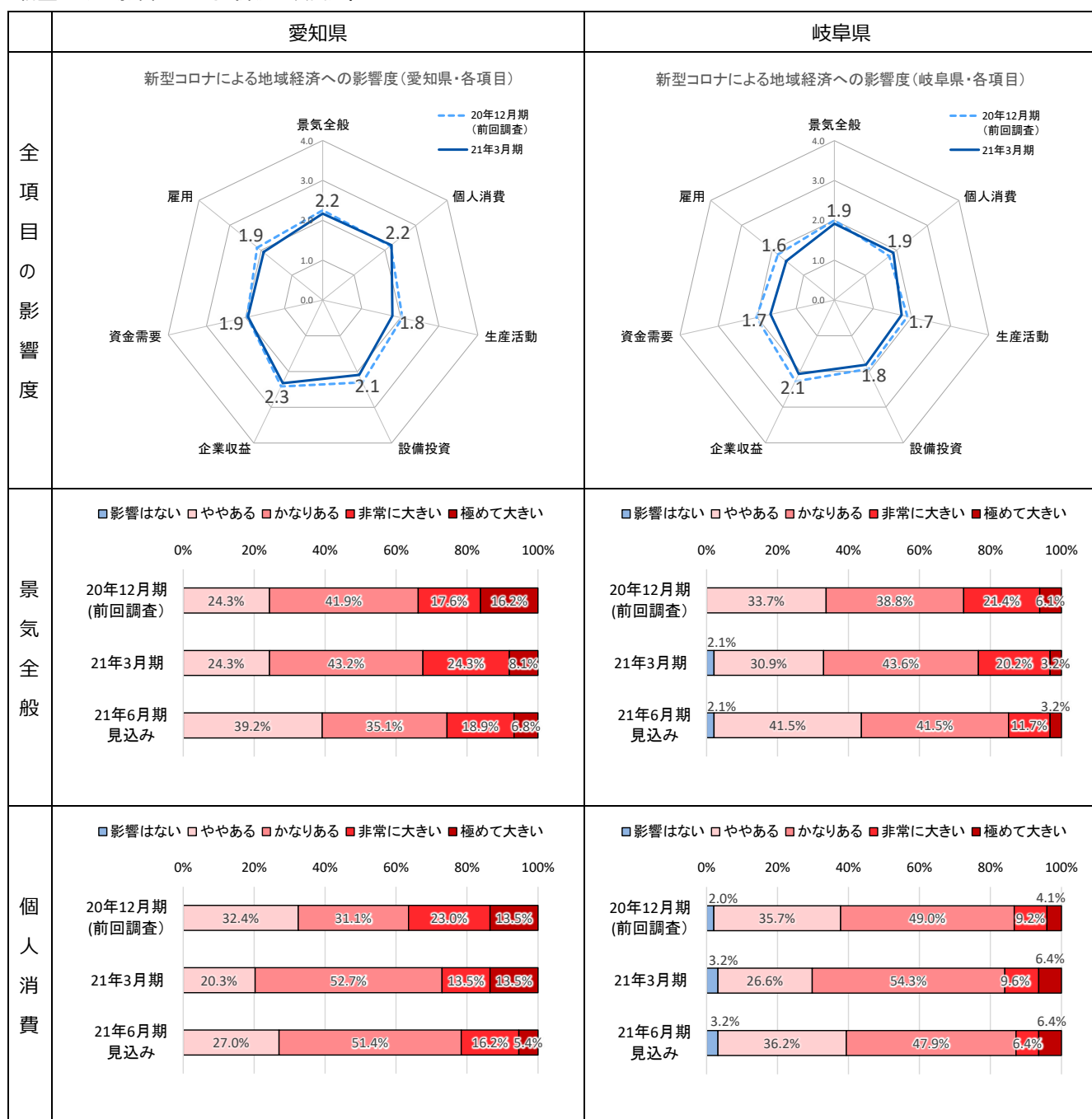
## (2) 愛知県、岐阜県とも新型コロナによる景気全般への影響度はやや低下。

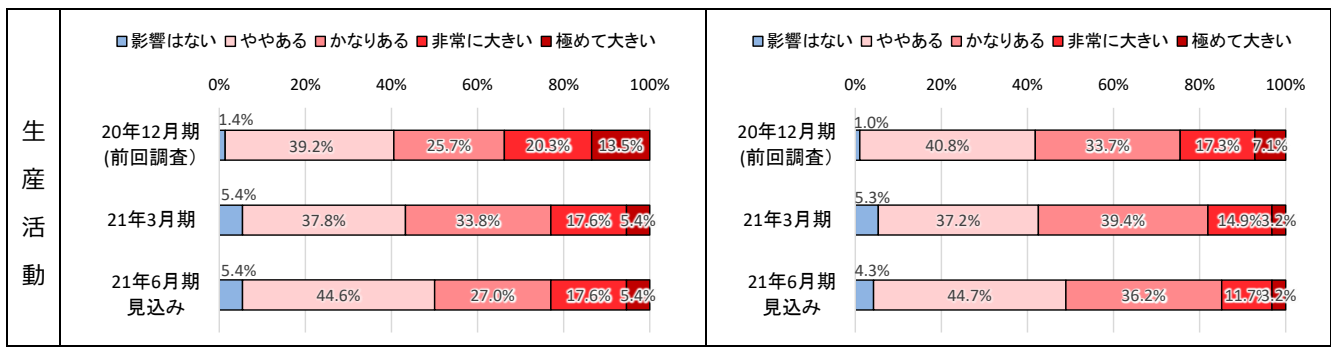
県別に新型コロナの影響度をみても。「景気全般」に対する影響度は、愛知県が2.2、岐阜県が1.9と、両県とも前回調査からやや低下した。両県とも緊急事態宣言の再発出により、「個人消費」で影響度がやや上昇したものの、OKB 景況指数でも見られた「生産活動」の回復などを背景に、前回調査に比し、新型コロナの影響は落ち着いたものと思われる。特に岐阜県では、「資金需要」、「雇用」の低下幅が大きい。

「景気全般」への影響について、「極めて大きい」「非常に大きい」の回答を合わせると、愛知県 32.4%、岐阜県 23.4%と、愛知県が岐阜県を上回っており、両県の同割合の差は前回調査から拡大した。

3か月後の見通しについては、両県とも景気全般への新型コロナの影響は軽減する見通し。ただし、足元で回復がみられる「生産活動」において、愛知県では、影響が「極めて大きい」、「非常に大きい」の回答が足元と同割合を見込むなど、依然として厳しい見方もある。

・新型コロナの影響について（県別・項目別）

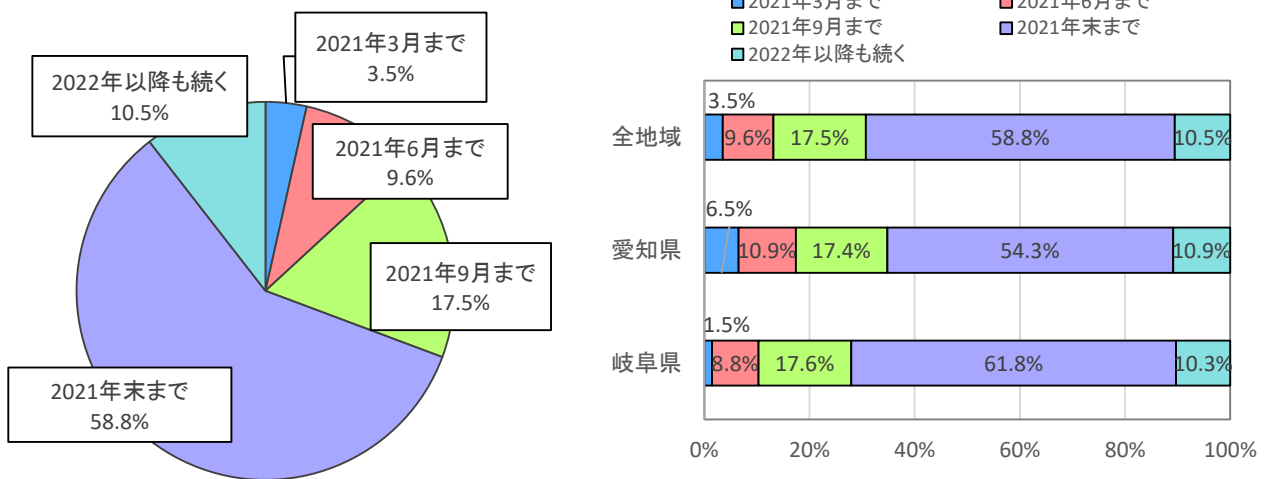




**(3) 地域経済への新型コロナの影響は、「2021 年末まで」が 58.8%と最も多く、合わせて 86.8%が 2021 年後半も影響が続くと回答。第 3 波感染拡大を受け、新型コロナの影響は長引く見通し。**

新型コロナによる地域の経済問題はどの程度続くともっているかを尋ねたところ、「2021 年末まで」が 58.8%(前回比 +38.6 ポイント)と最も多かった。第 3 波感染拡大を受け、多くの支店長は、新型コロナによる影響は年末まで引きずる展開を想定している。「2022 年以降も続く」は 10.5% (前回比▲0.1 ポイント) とだったものの、2021 年後半も影響が続くとする回答は合わせて 86.8%を占め、前回比で 21.5 ポイント増となった。

・新型コロナによる地域の経済問題はどの程度続くともっているか



以上